

本県教育の目標

ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり

【ウェルビーイングを目指すためには】

個人の幸せだけでなく、社会が幸せを感じられるよう、県民皆が自分の力を生かしながら、前向きに取り組んでいることが重要

→「挑戦」(チャレンジ)していることが重要

(「第7次山形県教育振興計画」より)

I 経営方針

1 経営方針

本県教育の目標のもと、研究、研修、教育相談に係る教育センターの機能を高め、学校と教職員、児童生徒と保護者を支援して、山形に根ざした特色ある教育の創造と推進を図る。

- (1) 本県の教員「指標」を踏まえ、教員のキャリアステージに応じた研修を体系的に実施し、資質・能力の向上を図るとともに、今日的教育課題に即した研修により、教職員と学校の課題解決力を高める。
- (2) 本県教育の課題を踏まえた研究を推進し、成果の還元と有効な活用を図る。
- (3) 教育に係る相談活動を充実させ、児童生徒や保護者等の自立的な問題解決を支援する。また、学校におけるいじめへの対応や不登校児童生徒の支援への理解、充実を図る。

2 本年度の重点目標

(1) 研 修

- ① 教職員や学校の課題に応じた講座を企画・運営し、教育理念や使命感、教員自身が学び続けること等の重要性を自覚しながら、教科・領域の実践的指導力や、教育課題解決力を高めることができる研修を実現する。
- ② 教員の探究的な研修の充実に向けて、山形県教員研修計画の改善・検討を進める。

(2) 研 究

多様性あふれる社会の中で、一人ひとりが自分らしく可能性にチャレンジできる学びを実現するため、時代に対応した研究を推進するとともに、これまでの研究成果の改善を行い、教員研修プログラムを開発し、その普及・還元に努める。

(3) 特別支援教育

- ① インクルーシブ教育システムの考え方を基に、特別支援教育の基礎を踏まえた研修講座を実施し、教員の専門性の向上を図る。
- ② 各種学校の通常の学級・通級指導教室・特別支援学級、及び特別支援学校における個に応じた学習指導、生活指導を支援し、特別支援教育力の向上を図る。

(4) 教育相談

- ① 電話や来所による相談により、相談者が主体的に課題解決に向かうよう援助する。
- ② 学校での教育相談活動の充実やいじめの未然防止のための活動、不登校児童生徒の理解について支援を行う。

(5) ICT活用・情報教育

教育DXを推進し、ICTを活用した授業づくりを進め、デジタル人材を育成する教職員を支援する。

(6) カリキュラムサポート事業

- ① 教職員や学校の課題に応じて、学校等に出向いての講座や継続的な学校訪問、来所相談への対応等、教職員と学校の探究的な取組みを支援する。
- ② 学習指導等に係る資料を収集・整理し、情報の発信に努め、教育活動への活用を促す。